

2010年3月期 決算説明会

2010年5月18日



目 次

Ⅳ. 連結子会社の概要

	(頁)
I.2010年3月期業績	
•業績概要	(3)~(4)
•業績比較 (連結•単独)	(5)
・セグメント別売上高・営業利益実績	(6)~(9)
•主要指標比較 (連結•単独)	(10)
•経常利益差異分析	(11)
•特別損益内訳 (連結•単独)	(12)
•貸借対照表(連結•単独)	(13)
・キャッシュ・フロー(連結・単独)	(14)
Ⅱ. 2011年3月期業績予想	
•業績予想概要	(16)
•予想業績比較 (連結•単独)	(17)
・セグメント別予想売上高・営業利益	(18)~(21)
•予想主要指標比較 (連結•単独)	(22)
•予想経常利益差異分析	(23)
•予想特別損益内訳 (連結•単独)	(24)
・予想キャッシュ・フロー(連結・単独)	(25)
Ⅲ. トピックス(2009年4月~2010年5月)	(27) ~ (28)

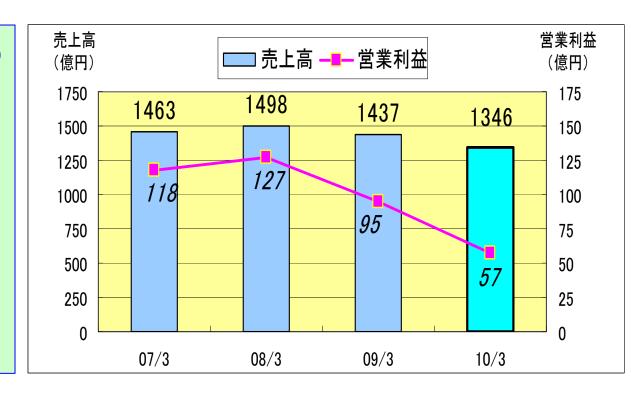
(30)~(31)

I. 2010年3月期業績



☆ 前期比では、売上高、営業利益、経常利益、純利益のいずれも下回る。

- ▶ 売上高 1,346.1 億円(前期比)(△ 91.3 億円、△ 6.4 %)
- ▶ 営業利益 57.1 億円(△ 37.5 億円、△ 39.7 %)
- ▶ 経常利益 55.0 億円(△ 31.5 億円、△ 36.4 %)
- 純利益 15.7 億円 (△ 18.0 億円、△ 53.4 %)



☆ 予想比では、売上高、営業・経常利益は上回るも、純利益は下回る。
(09年11月発表)



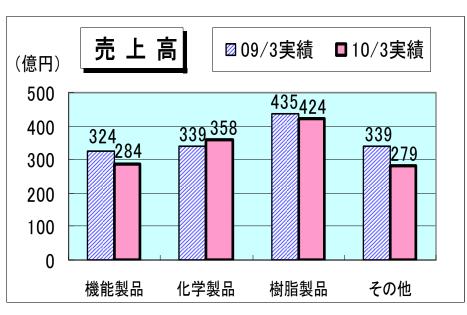
セグメント別実績 (前期比)

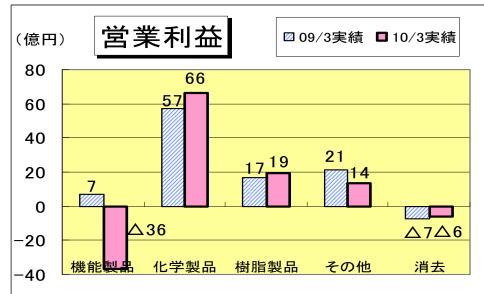
【機能製品】機能樹脂は下期までに数量回復も、前期の高コスト品の払い出しと上期の低稼働が影響し、炭素製品は断熱材需要の未回復と償却負担増により、収益低下。

【化学製品】農薬の為替影響あるも、医薬品の一時金と数量増及び農薬の数量増により、収益拡大。

【樹脂製品】中国向けコンパウンドの数量拡大や欧州包装材事業の伸張により、収益拡大。

【そ の 他】環境事業と民間建築事業の受注減少により、収益低下。





業績比較(連結・単独)

株式会社クレハ

() 从 · 倍 四)

								(.	<u> 単 位:</u>	<u> </u>
	09年	3月期実統	責		10	年 3	月期	実 績		
	連結	単 独	倍率	連 結 単 独 倍率						
							連	対前 ^年 結	単	独
売 上 高	1,437	866	1.7	1,346	856	1.6	-91	-6%	-10	-1%
営業利益	95	72	1.3	57	44	1.3	-37	-40%	-28	-39%
経常利益	87	69	1.3	55	46	1.2	-32	-36%	-23	-34%
当期純利益	34	28	1.2	16	24	0.7	-18	-53%	-4	-13%
総資産	1,822	1,442	1.3	1,846	1,468	1.3	24	1%	26	2%
					,			170		270
<u>純 資 産</u>	971	866	1.1	968	884	1.1	-3	0%	18	2%
1 株 当 たり	円	円		円	円		円		円	
当期純利益	18.75	15.39	1.2	8.77	13.39	0.7	-9.98	-53%	-2.00	-13%
1 株 当 たり	円	円		円	円		円		円	
純資産	533.45	483.28	1.1	538.10	493.14	1.1	4.65	1%	9.86	2%
	%	%		%	%		%		%	
自己資本比率	52.4	60	0.9	52.2	60.2	0.9	-0.2	_	0.2	_



セグメント別実績【機能製品】

						09年3月期	10年	3月期実統	<u> </u>
						実績	金額	増	減
	ク	炭	素	製	品	78	54	-24	-31%
	レ	機	能	樹	脂	118	128	10	8%
連結売上高	/\	そ	σ.)	他	31	26	-5	-18%
			Ē	i †		227	208	-20	-9%
		連結	子	会	社	203	164	-40	-19%
	;	連結う	も上	消	去	-106	-87	19	_
		合		計		324	284	-40	-12%
連・維	吉営	業	利	益		7	-36	-43	1

- ・PPSは、自動車及び電気・電子分野の需要回復により数量増となるも、前期の高コスト品の払い出しと上期の低稼働の影響等で、減益。
- ・PVDFは、バインダー用途が数量増も素材用途の需要回復遅れにより、減益。
- ・炭素繊維は、自動車分野(チョップ)などで一部回復も、太陽電池や半導体向け断熱材の需要回復に至らず、償却費増もあり、減益。
- ・炭素材料は、電池用負極材の需要が伸び、増益。
- ☆車載用LiB向けバインダー及び負極材は、電池および自動車各社での評価進む。



セグメント別実績【化学製品】

F									<u> </u>	· 心] /
					09年3	3月期	1	0年	3月期実	績
					実	績	金	頁	増	減
	ク	エ	業薬	品		103		102	-1	-1%
連結売上高	レ	農	薬、農	農 材		74		69	-5	-7%
	/\	医	薬	品		101		127	26	26%
			計			279		299	20	7%
	逗	直 結	子 会	社		93		91	-2	-2%
	連	語 結 見	15 上 河	肖去		-32		-32	1	_
		合	計	-		339		358	19	6%
連結	営	 業	利立			57		66	9	15%
			_							

- ・工業薬品は、PPS原料などの有機薬品の一部の数量は回復するも、カセイソーダなどの無機薬品が低迷し、減益。
- ・農薬は、「メトコナゾール」の数量が伸びるも、為替の影響と技術料減により、減益。
- ・医薬品は、「クレメジン」および「クレスチン」の売上増及び一時金受領により、増益。

セグメント別実績【樹脂製品】

			09年3月期	10年	3月期実績	
			実績	金額	増源	艾
		業務用包装資材	100	108	8	8%
	ク	家庭用品	229	215	-14	-6%
	レ	釣り糸	10	13	3	27%
連結売上高	/\	その他	20	13	-7	-36%
		計	360	349	-10	-3%
	追	直結子会社	331	316	-15	-5%
	連	語 結 売 上 消 去	-255	-241	14	_
		合 計	435	424	-11	-3%
連結	営	業 利 益	17	19	3	18%

- ・業務用包装資材は、中国向けコンパウンドの売上増やフィルムの採算改善により、 また、欧州での熱収縮多層フィルムも売上増となり、増益。
- ・家庭用品は、「NEWクレラップ」のリニューアル継続など商品価値を反映した市場 価格形成を図ったが、競争激化や資材費等の上昇もあり、減益。
- ・釣り糸は、タイムリーな新商品発売が奏功し、増益。



セグメント別実績【その他】

			09年3月期	10年	3月期実	<u>i. l心 J/</u> 績
			実績	金額	増	減
	連	環 境 事 業	65	50	-15	-23%
	結	建設関連事業	348	285	-63	-18%
	子	運輸・倉庫事業	124	108	-17	-13%
連結売上高	会	商社事業	19	17	-2	-10%
	社	その他	32	34	2	7%
		計	588	494	-95	-16%
	連	語	-249	-214	35	_
		合 計	339	279	-60	-18%
連結	i営		21	14	-7	-34%

- ・環境事業は、経済活動の停滞による産業廃棄物の排出量減少と競争激化により、減益。
- ・建設関連事業は、前期並みの大型工事の完工がなかったことと競争激化により、減益。

主要指標比較 (連結・単独)

									+ 14 .	心] /
	09年	F3月期実績	Į		1 () 年	3 月	期実	績	
	連 結 単 独 倍率 連 結 単 独 倍率 対 前 st		F 増 源	ţ						
							連	結	単	独
設 備 投 資 額	178	117	1.5	169	67	2.5	-9	-5%	-50	-43%
減価償却実施額	103	80	1.3	111	90	1.2	8	8%	10	12%
研究 開発費	61	58	1.1	62	60	1.0	2	3%	2	3%
有利子負債残高	440	333	1.3	480	334	1.4	39	9%	1	0%
金融 収支	0	8	_	-1	9	_	-1	_	0	2%
為 替 レ ー ト	100.57円/\$	00.57円/\$、141.95円/EUR 93.06円/\$、131.43円/							円/EUR	
1株当たり配当金	10円	円(年間)		10	円(年間])				
従 業 員 数 (人)	3,972	1,250	3.1	4,101	1,352	3.0	129	3%	102	8%

経常利益差異分析

(単位:億円)

							<u> </u>
		09年3月期	実績	10年3月期	実績	差	異
	クレハ	68.9	62%	45.7	83%		-23.2
経常利益	連結子会社	27.6	46%	18.8	34%		-8.8
	持分法会社	3.1	2%	2.9	5%		-0.1
	連結調整	-13.0	-10%	-12.4	-23%		0.6
	計	86.5	100%	55.0	100%		-31.5

[差異要因]

	増 益 要	因	減益要	因	差引計
	項目	金 額	項目	金額	
	売上数量増減	13	売上単価増減	-25	
クレハ	原燃料•製品購入	15	在庫増減	-17	
	単価増減		製造固定費増	-4	
	販売直接費減	1	一般管理費増	-1	
	為替差損益	2	研究開発費増	-2	
			その他	-5	
		31		-54	-23.2
	国内機能製品	1	海外機能製品	-10	
連結子会社	国内化学製品	1	環境関連	-2	
	国内樹脂製品	2	建設関連	-4	
	海外樹脂製品	2			
	その他	2			
		7		-16	-8.8



特別損益内訳(連結・単独)

		09年	2日期		10年3月		工 . 応] /
				•	. D		
		実	績	金	額	増	減
		連結	単 独	連結	単 独	連結	単 独
特	投資有価証券売却益	-	_	2.1	5.4	2.1	5.4
別	固定資産売却益	0.8	_	1.0	_	0.2	_
利	そ の 他	2.8	2.1	4.1	0.2	1.3	-1.9
益	計	3.6	2.1	7.2	5.6	3.6	3.5
	固定資産除却売却損	6.6	7.5	15.5	10.2	8.9	2.8
特	環境対策引当	-	_	1.7	1.5	1.7	1.5
別	たな卸資産評価損	8.7	5.8	-	_	-8.7	-5.8
損	投資有価証券評価損	6.3	5.7	_	_	-6.3	-5.7
失	減損損失	4.8	4.3	1.2	_	-3.6	-4.3
	事業撤退損	-	_	5.8	5.8	5.8	5.8
	その他	3.6	5.7	3.3	2.6	-0.3	-3.1
	計	30.0	29.0	27.5	20.1	-2.5	-8.9



貸借対照表(連結・単独)

1. 資産の部 (単位:億円)

1. 貝座の即					\ + E	L. 心] /			
	09年	3月末	10年	3月末	増	減	(参考)09年9月末		
	連結	単独	連結	単独	連結	単独	連結	単独	
現金•預金	73	44	72	47	-1	3	75	31	
売上債権	301	164	318	207	17	43	247	154	
たな卸資産	257	190	207	152	-50	-38	245	165	
その他流動資産	55	74	58	79	3	6	86	93	
(小計)	686	471	656	485	-30	14	653	443	
有形固定資産	774	532	818	504	44	-29	776	532	
無形固定資産	11	7	10	6	-1	-1	9	6	
投資等	352	432	362	474	11	42	381	482	
(小計)	1,136	971	1,191	983	54	12	1,166	1,020	
資産 合計	1,822	1,442	1,846	1,468	24	26	1,819	1,463	

- ・製品在庫圧縮でたな卸資産が減少。
- 高水準の設備投資で 有形固定資産が増加。

2. 負債・純資産の部 (単位:億円)

二. 天民 心天庄 17日					(十二・)			
	09년	F3月末	10年	3月末	増	減	(参考)09	9年9月末
	連結	単 独	連結	単 独	連結	単独	連結	単 独
買入債務	18:	2 62	168	67	-14	6	148	58
有利子負債	44	333	480	334	39	1	478	368
引当金	4	8 13	39	14	-9	1	45	13
その他負債	18	1 168	191	168	10	1	172	141
(小計)	85	1 576	878	584	27	8	843	580
資本金	12	125	125	125	0	0	125	125
資本剰余金	10	0 102	99	102	-1	0	99	102
利益剰余金	72	616	725	622	-3	6	720	616
自己株式	-1:	3 -13	-13	-13	0	0	-13	-13
評価•換算差額等	1	6 36	28	48	12	12	40	53
新株予約権		0 0	1	1	0	0	0	0
少数株主持分	1.	5 -	3	_	-11	_	4	_
(小計)	97	1 866	968	884	-2	18	976	883
負債・純資産 合計	1,82	1,442	1,846	1,468	24	26	1,819	1,463

長期借入金の増で有 利子負債が増加。



キャッシュ・フロー(連結・単独)

		09年	E3月	末実績		末実績
		連	結	単 独	連結	単 独
	償却前利益	-	163	122	146	121
営業キャッシュ・フロー	資産及び負債の増減額	-	-12	-23	16	4
	法人税等の支払額	-	-37	-19	-12	-5
	その他		0	17	8	14
		-	114	97	158	134
投資キャッシュ・フロ	_	-2	205	-160	-177	-114
財務キャッシュ・フロ	_	-	107	79	20	-17
現金及び現金同等物	に係る換算差額		-5	0	-3	0
新規連結に伴う現金	及び現金同等物の増加額		_	-	0	_
現金及び現金同等物	の増減額		11	16	-1	3
現金及び現金同等物	 の期首残高		61	28	73	44
現金及び現金同等物	の期末残高		73	44	72	47

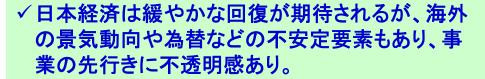
Ⅱ. 2011年3月期業績予想



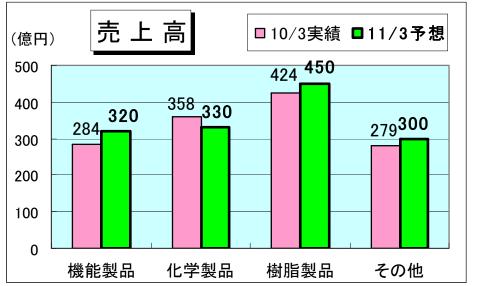
2011年3月期業績予想 概要

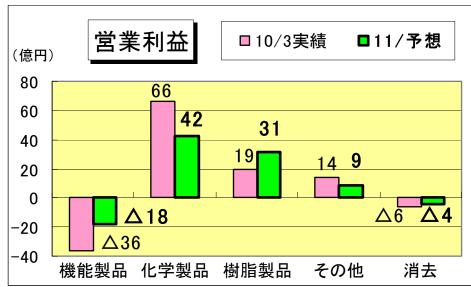
- •売上高 1,400 億円 (+ 4.0%)
- •営業利益 60 億円 (+ 5.1%)
- ·経常利益 50 億円 (△ 9.1%)
- •純利益 24 億円 (+52.7%)

(前期比增減率)



- ✓ 自動車、電気・電子用途は順調な回復を見込む も、炭素繊維製断熱材の回復は下期と予測。
- ✓ 設備投資内容・時期の再設定により、今期の減 価償却費は前期並みの水準。





KUREHA

									単位:	
	10年	3 月 期 9	€ 績		1 1	年 3 月	期予	想		
	連結	単 独	倍率	連結	単 独	倍率		対前年	F増減	
							連	結	単	独
				(620)	(390)					
売上高	1,346	856	1.6		860	1.6	54	4.0%	4	0.5%
				(13)	(9)					
営業利益	57	44	1.3	60	40	1.5	3	5.3%	-4	-9.1%
				(10)	(9)					
経常利益	55	46	1.2	50	37	1.4	-5	-9.1%	-9	-19.6%
				(6)	(22)					
当期純利益	16	24	0.7	24	40	0.6	8	50.0%	16	66.7%
総資産	1,846	1,468	1.3	※ 上記()内は第2四	四半期累割	計予想			
純資産	968	884	1.1							
1 株 当 たり										
当期純利益	8.77	13.38	0.7							
1 株 当 た り										
純資産	538.1	493.14	1.1							
自己資本比率	52.2	60.2	0.9							

セグメント別予想【機能製品】

(単位:億円)

						10年3月期実績	11年3月		- 1 PEN 37
						金 額	金額	増	減
	ク	炭	素	製	品	54	64	10	18%
	レ	機	能	樹	脂	128	145	17	14%
連結売上高	/\	そ	0)	他	26	31	5	21%
			Ī	†		208	240	32	16%
	逗	基 結	子	会	社	164	170	7	4%
	連	結	<u> </u>	消	去	-87	-90	-3	_
		合		計		284	320	36	13%
連結	営	業	 利	益		-36	-18	18	_

- ・PPSは、自動車及び電気・電子分野の需要回復により、いわき事業所はフル稼働へ。 米国合弁会社も順調に回復中。
- ・PVDFは、素材用途の回復とバインダー用途の伸びを見込む。
- ・炭素繊維は、太陽電池等のシリコン塊製造装置用断熱材の下期での需要回復を見込む。
- ・PGAは、8月末プラント完成。年末までに商業運転を開始し、2011年初頭より出荷開始。

以上により、前期比増収・増益



セグメント別予想【化学製品】

(単位:億円)

					10年3月期実績	11年3月	期予想	. .
					金 額	金額	増	減
	ク	工業	薬	品	102	100	-2	-2%
連結売上高	レ	農薬	、農	材	69	80	11	15%
	/\	医	薬	品	127	100	-27	-21%
			計		299	280	-19	-6%
	通	<u> 結子</u>	会	社	91	90	-1	-1%
	連	結売 _	<u> </u>	去	-32	-40	-8	_
		合	計		358	330	-28	-8%
連結	営	業利	益		66	42	-24	-37%

- ・工業薬品は、現在の需給環境が継続する前提。
- ・農薬は、「メトコナゾール」の海外向け数量が更に伸張。一方、農材は来期の事業撤退へ向けて縮小。
- ・医薬品は、薬価改定と前期の「クレメジン」の一時金がない影響あるが、「クレメジン」および「クレスチン」は数量増を見込む。

以上により、前期比減収・減益



セグメント別予想【樹脂製品】

(単位:億円)

				10年3月期実績	11年3月	期予想	
				金額	金額	増	減
		業務用包	D装資材	108	114	6	6%
	ク	家 庭	用品	215	198	-17	-8%
	レ	釣り	ション 糸 二	13	11	-2	-16%
連結売上高	/\	そ の) 他	13	17	4	30%
		Ē.	†	349	340	-9	-3%
	通	基 結 子	会 社	316	260	-56	-18%
	連	語 売 上	消去	-241	-150	91	_
		合	計	424	450	26	6%
連結	営	業利	益	19	31	12	59%

- 業務用包装資材は、中国向けコンパウンドの売上増や更なる採算改善をはかる。
- ・家庭用品は、リニューアルした「NEWクレラップ」および「キチントさん」の価値訴求を継続し、商品価値を反映した市場価格の形成を図る。中国では、提携先との連携による拡大を見込む。 (クレハ単体での前期比売上減は、生産子会社統合による子会社向け売上の減少による)
- ・釣り糸は、若年層などのニーズにあった商品の拡充と流通在庫量の適正化をはかる。

以上により、前期比増収・増益



セグメント別予想【その他】

(単位:億円)

					<u> </u>	/UNIJ/
			10年3月期実績	11年3月	期予想	
			金 額	金額	増	減
	連	環境事業	50	65	15	31%
	結	建設関連事業	285	270	-15	-5%
	子	運輸・倉庫事業	108	108	0	0%
連結売上高	会	商社事業	17	16	-1	-5%
	社	その他	34	26	-8	-25%
		計	494	485	-9	-2%
	連	語 結 売 上 消 去	-214	-185	29	_
		合 計	279	300	21	7%
連結	営	業利益	14	9	-5	-35%

- ・環境事業は、4月に開設した"かながわ事業所"を都市圏及び以西の顧客への拠点と して事業拡大をはかる。
- ・建設関連事業は、エンジニアリング部門を中心に投資抑制の影響を受けるが、エリア 拡大等による受注増加とコストダウンをはかる。

以上により、前期比増収・減益を予想。



予想主要指標比較 (連結・単独)

										/		
	10年	3 月 期 :	実 績		1 1	年 3	月 期	期 予 想				
	連 結	単 独	倍率	連 結	単 独	倍率	交	打 前 左	F 増 派	戓		
							連	結	単	独		
設備投資額	169	67	2.5	155	91	1.7	-14	-8%	24	36%		
減価償却実施額	111	90	1.2	110	84	1.3	-1	-1%	-6	-7%		
研究開発費	62	60	1.0	61	59	1.0	-1	-2%	-1	-2%		
有利子負債残高	480	334	1.4	548	385	1.4	68	14%	51	15%		
金融収支	-1	9	_	-3	5	_	-2	_	-4	-44%		
為替レート	93.06円/	\$ 131.	43円/€	90円/\$、	125円/€							
1株当たり配当金	10円	(年間)		10円(年間予想)								
従 業 員 数 (人)	4,101	1,352	3.0	4,074	1,330	3.1	-27	-1%	-22	-2%		

予想経常利益差異分析

(単位:億円)

					\ I	<u> </u>	<u> </u>
		10年3月期	実績	11年3月期	予想	差	異
	クレハ	45.7	83%	37.0	74%		-8.7
経常利益	連結子会社	18.8	34%	19.0	38%		0.2
	持分法会社	2.9	5%	2.1	4%		-0.8
	連結調整	-12.4	-23%	-8.1	-16%		4.3
	計	55.0	100%	50.0	100%		-5.0

[差異要因]

	増 益 要	因	減 益 要	因	差引計
	項目	金 額	項目	金額	
	売上数量増減	7	売上単価増減	-14	
ク レ ハ	在庫増減	16	原燃料•製品購入	-7	
	研究開発費減	1	単価増減		
			販売直接費増	-2	
			一般管理費増	-4	
			金融収支	-4	
			その他	-1	
		24		-32	-8.7
	国内機能製品	1	その他	-5	
連結子会社	海外樹脂製品	4			
		5		-5	0.2

予想特別損益内訳(連結・単独)

					10年	3月期				11年	₹3月	期予			
					実	績			金	額			増	洞	Ì
				連	結	単	独	連	結	単	独	連	結	単	独
特	投資有	価証券引	も却益		2.1		5.4		2.0		10.0		-0.1		4.6
別	固定	資産売却	印益		1.0	_	-	-	-	_	-		-1.0		_
利	そ	の	他		4.1		0.2		2.0		15.0		-2.1		14.8
益		計			7.2		5.6		4.0		25.0		-3.2		19.4
特	固定資	産除却引	も却損		15.5		10.2		12.0		10.0		-3.5		-0.2
別	環均	竟関連引	串		1.7		1.5	-	-	_	-		-1.7		-1.5
損	減	損 損	失		1.2	_	-	-	-	_	-		-1.2		_
失	事	業撤退	泇		5.8		5.8	-	-	_	-		-5.8		-5.8
	そ	の	他		3.3		2.5		2.0	_	-		-1.3		-2.5
		計			27.5		20.1		14.0		10.0	_	13.5	_	-10.1

予想キャッシュ・フロー(連結・単独)

							<u> </u>	<u> </u>
		10	年3月	月末実績	11年(3月	末	予想
		連	結	単 独	連糸	吉	単	独
	償却前利益		146	121	15	0		136
営業キャッシュ・フロー	資産及び負債の増減額		16	4	_5	0		-22
	法人税等の支払額		-12	-5	-1	7		-13
	その他		8	14		0		-15
			158	134	. 8	3		86
投資キャッシュ・フロ・	_	_	-177	-114	-14	8	-	-119
財務キャッシュ・フロ・	_		20	-17	5	2		19
現金及び現金同等物	 に係る換算差額		-3	C		-		-
新規連結に伴う現金	及び現金同等物の増加額		0	_		-		_
合併による現金及び	現金同等物の増加額		_	_	•	-		0
現金及び現金同等物	の増減額		-1	3	-1	3		-14
現金及び現金同等物	の期首残高		73	44	. 7	2		47
現金及び現金同等物	の期末残高		72	47	5	9		33

Ⅲ. トピックス (2009年4月~2010年5月)



トピックス (1)

<u>1. 全 般</u>

- 5月 中国・上海に機能製品・樹脂製品の営業拠点として「呉羽(上海)化工材料貿易有限公司」を設立、活動開始。
- 10月 中間配当を当初予想の通り、5円とすることを発表。
- 11月 モディファイヤーに関する公取委審決に対する審決取消訴訟を提起しないことを発表。
- 1月 4月1日にクレハサービスの一部の事業を会社分割により承継することを発表。
- 1月 7月1日にクレハプラスチックスを吸収合併することを発表。
- 4月 PGA事業部、戦略事業本部を設置。
- 4月 期末配当を当初予想の通り、5円とすることを発表。
- 5月 (株)日本格付け研究所(JCR)が「クレハをA/安定的に据置、発行登録債をAに予備格付け」と発表。

2. 機能製品

- 6月 子会社の加古川プラスチック(株)の株式を東レ(株)に譲渡し、持分法適用会社とした。また、10月より社名を"東レ KPフィルム(株)"に変更した。
- 8月 いわき事業所のPVDF生産能力を、年産2,500トンから2,700トンへ増強。
- 9月 中国上海の炭素繊維加工会社が旧工場から新工場への全面移転を完了。

3. 化学製品

- 8月 慢性腎不全用剤「クレメジン」に関わる当社保有の特許権を後発品の製造・販売会社が侵害していることについて、東京地裁より、ほぼ当社の主張を認める判決が出た。なお、9月に当社は判決の一部を不服として知財高裁に控訴した。
- 10月「クレメジン」の国内販売権を11月より田辺三菱製薬㈱に供与し、田辺三菱製薬㈱が第一三共㈱に再許諾した ことを発表。11月以降も、第一三共が国内における販売窓口となる。
- 10月「クレメジン」に関わる当社保有の特許権を後発品の製造・販売会社が侵害していることについて、東京地裁より、当社の主張を一部認める判決が出たが、当社はこの判決を不服として知財高裁に控訴した。



1月 「クレメジン」に関わる当社保有の特許権を無効とする後発品の製造・販売会社の主張に対し、最高裁はこれらの上告を棄却。

4. 樹脂製品

- 5月 業務用包装資材製造・販売会社"クレハ・ベトナム"において、生産を開始。
- 7月 日本パッケージングデザインコンテストにて「NEWクレラップ」が『食品包装部門賞』で6年連続受賞。
- 9月 「シーガー」シリーズに、ルアー用新商品を追加。
- 10月 「NEWクレラップ」が2009年グッドデザイン賞を4年連続5回目の受賞。あわせて2009年ロングライフ賞を受賞。
- 11月「NEWクレラップ」で経済産業省「第3回製品安全対策優良企業表彰」大企業製造・輸入事業者部門『優良 賞』を受賞。
- 1月「キチントさん」をキッチン用品の総合ブランドとしてデザイン等リニューアル。3月までに「フリーザーバッグおいしさキープ」、「ダストマン〇、▽」、「レンジ保存容器」をリニューアル新発売。
- 1月「NEWクレラップ」を7年連続リニューアル。カートンのグリップ感向上などを工夫。
- 2月「シーガー」シリーズに、海釣り用ハリス、船釣り用道糸の新商品を追加。
- 2月「NEWクレラップ」のベルマーク教育助成運動の助成金が1億円を突破し、当該財団より表彰された。

5. その他

2010年

- 4月 錦商事㈱が、㈱クレハトレーディングに社名変更。
- 4月 クレハ環境(株)が、(財)かながわ廃棄物処理事業団の施設(焼却能力210トン/日)を譲り受け、かながわ事業 所を開設。
- 4月 クレハ錦建設㈱が、南東北での事業拡大の拠点として仙台支店を開設。



Ⅳ. 連結子会社の概要



連結子会社の概要 (1)

			-			(1	<u> 単位 : 億円)</u>
		09年3	月期	10年3月	期	増	減
		売上高	総資産	売上高	総資産	売上高	総資産
株式会	社クレハ	866	1,442	856	1,468	-10	26
錦商事	株式会社・グループ2社	294	104	286	121	-8	17
機能製品	株式会社クレハ	227	_	208	_	-20	_
	錦商事株式会社・グループ2社	86	_	88	_	2	-
	加古川プラスチックス株式会社	28	27	6	_	-22	_
	クレハ エクステック株式会社	18	18	15	15	-3	-3
	日本エクストロン株式会社	13	16	10	16	-3	0
	Kureha GmbH	26	12	23	10	-4	-2
	Kureha America Inc.グループ3社	21	81	14	136	-7	55
	上海呉羽化学有限公司	10	18	7	25	-3	7
	連結調整	-106	_	-87	_	19	_
	<u>i</u> †	324	_	284	_	-40	_
化学製品	株式会社クレハ	279	_	299	-	20	_
	錦商事株式会社	93	_	91	_	-2	_
	連結調整	-32	_	-32	_	1	_
	<u>ā</u> †	339	_	358	_	19	-
樹脂製品	株式会社クレハ	360	_	349	_	-10	-
	錦商事株式会社	96	_	90	_	-6	-
	クレハ合繊株式会社	24	19	20	18	-4	-1
	クレハプラスチックス株式会社	140	81	130	78	-10	-3
	欧州包材・グループ5社	70	55	74	53	4	-2
	クレハベトナム	-	_	2	26	2	26
	上海呉羽貿易有限公司	0	0	_	_	_	_
	連結調整	-255	_	-241	_	14	_
	計	435	_	424	_	-11	_



		09年3月期		10年3月期		増	減
		売上高	総資産	売上高	総資産	売上高	総資産
その他	株式会社クレハ環境	50	41	36	56	-14	15
	株式会社クレハ分析センター	15	7	14	7	-2	-0
	株式会社クレハエンジニアリング	146	69	132	49	-14	-20
	クレハ錦建設株式会社・グループ4社	202	114	153	71	-49	-43
	クレハ運輸株式会社・グループ7社	124	63	108	63	-17	-0
	錦商事株式会社	19	_	17	_	-2	_
	クレハサービス株式会社	7	45	7	44	0	-1
	クレハスタッフサービス株式会社	26	7	28	8	2	1
	連結調整	-249	_	-214	-	35	ı
		339	-	279	-	-60	ı
(連結子会社数)		(34)		(33)			
	合計(連結)	1,437	1,822	1,346	1,846	-91	24
持分法 適用会社	南通匯羽豊新材料有限公司	28		29		1	

- ※ 2010年3月期連結子会社 33社(前期比減少1社) 持分法適用関連会社 2社(前期比1社増)
- ※ 錦商事株式会社は、2010年4月より株式会社クレハトレーディングに社名変更

本資料取り扱い上のご注意

- 本資料はあくまで当社をより深くご理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて当 社の判断により作成されておりますが、実際の業績 が様々な要素により計画とは異なる結果となり得る ことをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。